

令和4年3月7日（月）
国土交通省関東地方整備局
大宮国道事務所

記者発表資料

無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）に関する協定について、映像中継訓練を実施します。

大宮国道事務所では、「無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）」に協力して頂ける企業と令和3年12月24日に協定を締結しました。※1
本協定の確実な履行を目的として、無人航空機にて撮影したリアルタイム映像を中継する、映像中継訓練を実施します。

※1：協定締結会社は「別紙1」のとおり

- 日 時 令和4年3月11日（金） 10時00分～11時00分
- 場 所 国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所
無人航空機飛行（映像撮影場所）：大宮国道事務所 構内
映像確認場所：大宮国道事務所 災害対策室
- 内 容 無人航空機にて撮影した映像を大宮国道事務所 災害対策室にて現地状況をリアルタイムで確認する。

報道機関の皆様へ

- ※訓練の取材を希望される方は、「別紙2」により事前登録をお願いします。
- ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場への入場の際はマスク着用の上、検温及び消毒のご協力をお願いします。
- ※訓練当日は、災害対策室にて現地からの中継状況をご確認頂けます。
なお、悪天候の場合、現地からの中継訓練を実施出来ない場合があります、その場合には事前調査を行った際の映像をご確認頂きます。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ さいたま市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 ☎048-669-1200(代表)
副所長(管理) 渡邊 正(わたなべ ただし)
管理第二課長 伊藤 仁(いとう ひとし)

協定の概要

○協定の概要（東京都23区内）

【協定名】

「無人航空機による災害応急対策活動(撮影等)に関する協定」

【協定の目的】

本協定は、東京都心23区内において震度6弱以上(気象庁発表)の地震発生時における以下の路線①～③の災害応急対策活動を実施するにあたり、協定会社と大宮国道事務所の協定締結により、早期の被災状況把握と道路啓開及び被災施設の早期復旧に資することを目的とする。

- ①国道17号(東京都中央区日本橋～埼玉県戸田市川岸)
- ②国道17号BP(東京都練馬区北町～埼玉県戸田市早瀬)
- ③国道254号(東京都文京区本郷～東京都板橋区成増)

【業務・作業内容】

- ①緊急点検(パトロール) ……無人航空機による道路状況等の撮影
- ②点検結果報告 ……撮影画像の提出(撮影画像の送信)

【協定区間】

東京都心23区内の対象路線(国道17号、国道17号BP、国道254号)

【協定期間】

令和3年12月24日から令和6年3月31日まで

○協定の概要（埼玉県内）

【協定名】

「埼玉県内の無人航空機による災害応急対策活動(撮影等)に関する協定」

【協定の目的】

本協定は、大宮国道事務所が管理する道路施設等に災害等が発生した場合または、発生の恐れがある場合に、無人航空機及びドローンによる災害応急対策活動(撮影等)により、詳細な被災状況を把握し、被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に資することを目的としている。

【業務・作業内容】

- ①緊急点検(パトロール) ……無人航空機による道路状況等の撮影
- ②点検結果報告 ……撮影画像の提出(撮影画像の送信)

【協定区間】

- ①大宮国道事務所管内
- ②災害等の状況により、上記①以外の大宮国道事務所が依頼する場所

【協定期間】

令和3年12月24日から令和4年3月31日まで

なお、期間満了の日の3ヶ月前までに、甲から乙に対して継続等の意向を確認し、解約の意向がない場合には1年間継続するものとする。

映像中継訓練の概要

○映像中継訓練の概要

【訓練の目的】

現地状況をリアルタイムに把握するための、現地映像送信・受信状況の確認を行う。

災害発生時等にリアルタイムに現地状況の把握と、現地映像の送信・受信状況の確認を行う。

【訓練の内容】

災害等の発生を想定し、協定会社(代表1社)により、国道17号沿線(大宮国道事務所構内)にて無人航空機により撮影した映像を、Web会議システムを利用し、大宮国道事務所(災害対策室)へリアルタイムに送信を行う。

【中継イメージ】



The diagram shows a drone flying over a disaster-stricken area with rubble and damaged buildings. Below the drone, a person is shown holding a remote control. The text 'イメージ写真' (Image Photo) is overlaid on the scene. Below the person, it says '写真は国土交通省HPより' (Photos from the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport website). A list of activities includes '現場状況確認' (On-site status confirmation) and '指示による撮影' (Shooting by instruction). The title is '【無人航空機による現地調査】' (Field investigation using a drone).



The diagram shows a person in a disaster response room pointing at a large monitor displaying the same disaster-stricken area as the drone. The text 'イメージ写真' (Image Photo) is overlaid on the monitor. Below the monitor, it says '写真は国土交通省HPより' (Photos from the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport website). A list of activities includes '映像にて状況確認' (Status confirmation via video) and '撮影方法指示' (Shooting method instruction). The title is '【災害対策室等での遠隔確認】' (Remote confirmation in disaster response room, etc.).

「実際は、空からの映像を予定している」

現地からの中継情報に基づき災害応急対策を検討

無人航空機を活用するメリット：上空から早期に正確な被災状況をリアルタイムに把握することが可能

協定締結会社一覧表

「別紙1」

①無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）に関する協定

協定締結者：以下7社

五十音順 敬称略

No.	会社名	代表者	備考
1	朝日航洋株式会社	尾暮 敏範	
2	株式会社エイテック東日本支社	吉本 智彦	
3	株式会社オオバ東京支店	皆木 信介	
4	一般社団法人国際ドローン協会	榎本 幸太郎	
5	通信土木コンサルタント株式会社	竹岡 雅裕	
6	東日本総合計画株式会社	樋口 智彦	
7	株式会社ミラテドローン	佐々木 康之	

②埼玉県内の無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）に関する協定

協定締結者：一般社団法人埼玉県測量設計業協会

本協定への登録会員は以下19社

五十音順 敬称略

No.	会社名	代表者	備考
1	株式会社荒川瀧石	吉田 進	
2	井田起業株式会社	井田 正志	
3	カツミテクノ株式会社	坂本 哲朗	
4	株式会社北武蔵調査測量設計事務所	今井 一昭	
5	埼玉測量設計株式会社	小山 祥史	
6	株式会社坂田測量設計事務所	坂田 昇一	
7	三協測量設計株式会社	細沼 英一	
8	株式会社セントラル測量	石上 実	
9	株式会社大洋画地	遠藤 秀徳	
10	第一測量設計株式会社	富岡 重孝	
11	高瀬測量設計株式会社	高瀬 映仁	
12	株式会社千島測量設計	千島 英雄	
13	司測量設計調査株式会社	吉野 淳司	
14	東洋測地調査株式会社	松村 裕樹	
15	株式会社中野技術	菅原 広志	
16	富士測地株式会社	及川 幸泰	
17	株式会社富士測量	浅見 祐二	
18	武州測量株式会社	笠原 俊也	
19	吉田測量設計株式会社	千葉 博之	

**無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）に関する協定
映像中継訓練**

取材登録書

**標記訓練について、取材を希望される報道機関におかれましては、
事前にご登録をお願いいたします。**

- E-mail : ktr-oomiya-cloud@mlit.go.jp
- 期 限 : 令和4年3月9日(水) 17時まで

1. 報道機関名:

2. 担 当 者:

3. 連 絡 先:
